



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2023年4月号

- 整形外科診療におけるエコーの活用
- 透析室の災害対策アップデート 2022
ほか

病院・診療所のみなさまへ

いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認されてから3年3ヶ月が経過しました。5月8日には感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の5類相当に変更される予定で、行政からは一定の方針が示されています。しかし、具体的な変更については各医療機関で決めていかねばならず、さまざまな変更について検討・決定・実行していくのに苦慮しそうです。いずれにせよ、引き続き皆さまと手を取り合い、地域医療に貢献していく方針に変わりはありませんので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。当院の広報紙『城陽江尻病院だより』ですが、2023年4月号ができあがりしました。今号の特集は、「整形外科診療におけるエコーの活用」と「透析室の災害対策アップデート2022」となっております。ご一読いただければ幸いです。

整形外科診療におけるエコーの活用

最近、整形外科領域ではエコー（超音波診断装置）が注目されています。エコーは、放射線を用いないため、被爆の心配がありません。コンパクトな機器が増えており、外来診察室や手術室、病室への持ち運びが簡単です。腱の滑動など動態観察をすることができますし、穿刺・注射における針先の位置確認もできます。そんなわけで、当科でも日常診療でよく活用しています。以下に活用例をご紹介します。

写真1は、ばね指に対するステロイド腱鞘内注射の様子です。肥厚したA1 pulleyを描出し、交差法で針先を確認しながら薬液を注入しています。

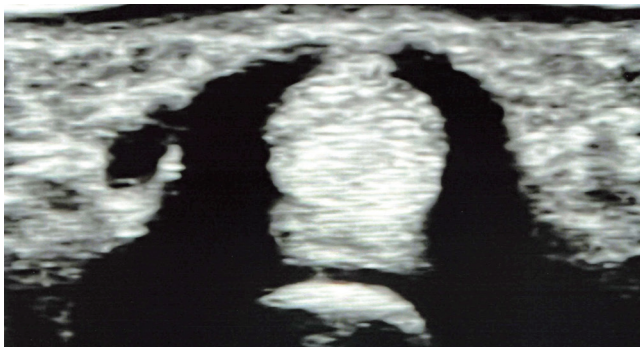


写真 1a：肥厚した A1 pulley

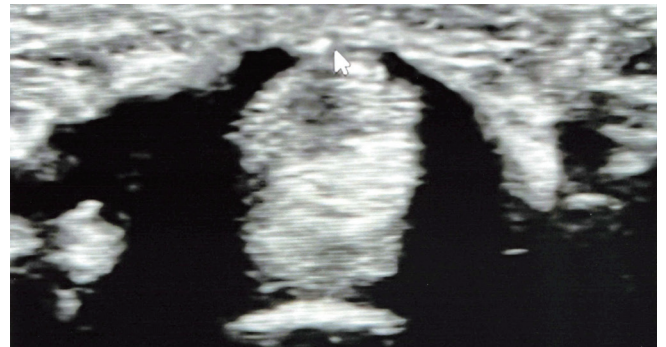


写真 1b：注射針を刺入し、薬液を注入しているところ

写真 2 は、肩峰下滑液包への局所麻酔薬＋ステロイド注射の様子です。平行法で針を的確な位置に進めたのち、薬液の広がる様子をリアルタイムで観察しながら癒着を剥離しています。

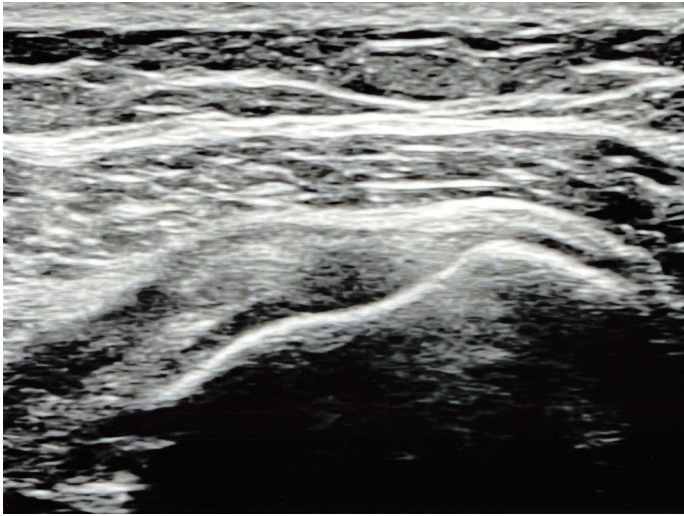


写真 2a：棘上筋腱と肩峰下滑液包

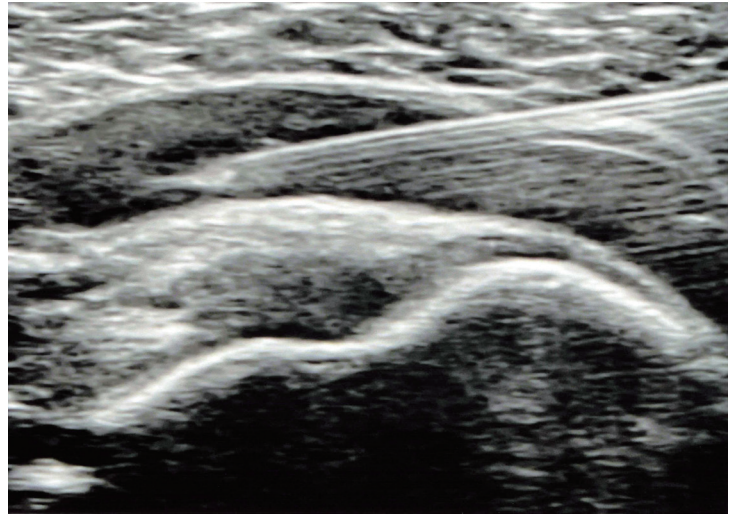


写真 2b：肩峰下滑液包に薬液を注入し、癒着を液性剥離しているところ

写真 3 は、肩関節水腫に対する穿刺吸引の様子です。ブラインドでの穿刺吸引では、肥厚した滑膜やデブリを吸着してしまってもうまくいかないことがあります。しかしエコーガイド下なら、これらを避けながら完全に吸引してしまいうことができ、その後の薬液注入も正確に行えます。

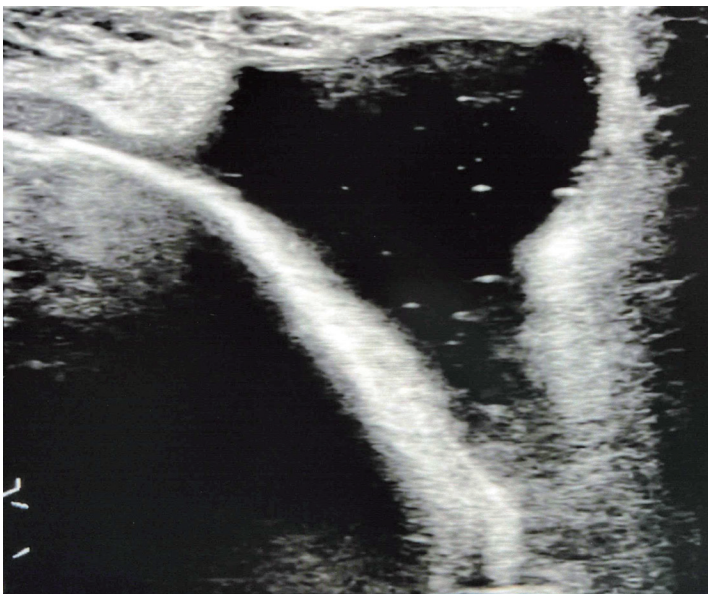


写真 3a：肩関節液の貯留

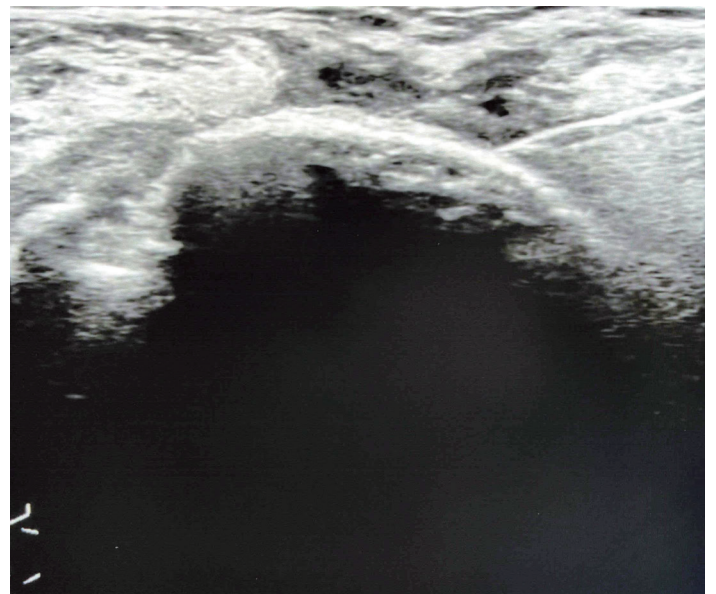


写真 3b：針先をコントロールし、関節液を吸引し終えたところ

このほか、手術のための伝達麻酔や神経ブロックも安全・確実に行うことができます。今後もエコーを活用し、安全で効果的な診療を心がけていきたいと思えます。

透析室の災害対策アップデート 2022

近年、日本の自然災害の発生件数が増えています。また、南海トラフ巨大地震は、20年以内に発生する確率が60%程度、30年以内に発生する確率が70～80%とされています。血液透析中の被災は非常にリスクが高く、透析室における災害対策は不可欠です。当院透析課では定期的に災害対策をアップデートしておりますが、このうち、昨年度に行った3つの取り組みを紹介いたします。

一つ目は、災害対策の理解度チェックです。どんなにしっかりしたマニュアルがあっても、スタッフが把握していなければ意味がありません。そこで、災害対策の理解度を測るアンケートを作成し（図1）、透析課スタッフ全員に実施しました。アンケートの結果、スタッフの中に緊急時の離脱方法などを熟知していない者が一定数いることが判明したため、災害対策の内容や方法をスタッフで何度も話し合いました（図2）。

・当院の緊急時の離脱方法を知っていますか？
知っている 少し知っている 知らない
・離脱時の必要物品を知っていますか？
知っている 知らない
・緊急時の離脱が出来ますか？
出来る 少し出来る 出来ない
・緊急時の離脱を過去に一度でも行った事があるか（訓練も含む）
ある ない
・避難場所を知っていますか？
知っている 知らない
・避難通路を知っていますか？
知っている 知らない
・担送、護送、独歩の適切な避難方法を知っていますか？
知っている 知らない
・透析課では災害時の担当は避難誘導班と知っていますか？
知っている 知らない

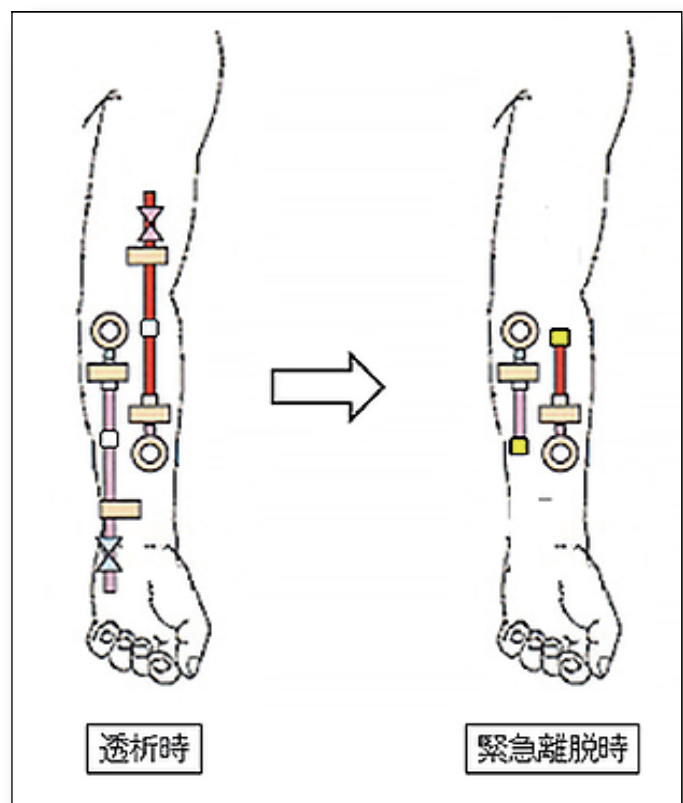


図1：災害対策の理解度を測るアンケート（一部）

図2：透析離脱をより早く簡潔に行うことができるカップ法に変えました。

二つ目は、透析室防災マニュアルの改訂です。前述のアンケート結果なども踏まえ、見直しました（図3）。

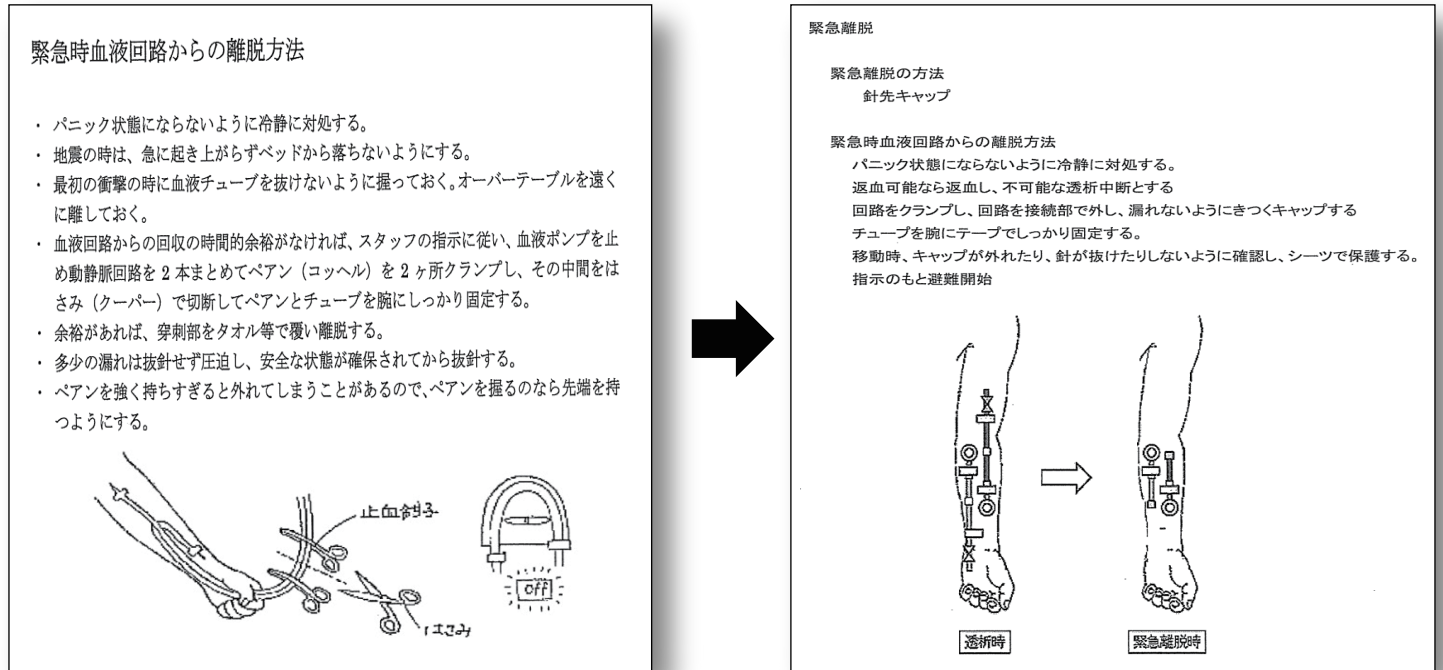


図3：透析室防災マニュアル改訂内容（一部）

三つ目は、透析室からの避難訓練です。当院の透析患者さまの中に寝たきりの方がたくさんいらっしゃることを踏まえ、どのような避難方法が望ましいか、学会での報告やほかの施設で行われている方法なども加味しながら議論しました。最終的に当院に適した方法を新たに考案し、避難訓練も行いました（写真）。



写真：新たな避難方法の実施風景

「災害対策は一日にして成らず」を胸に、今後もアップデートを続けていきたいと思ひます。

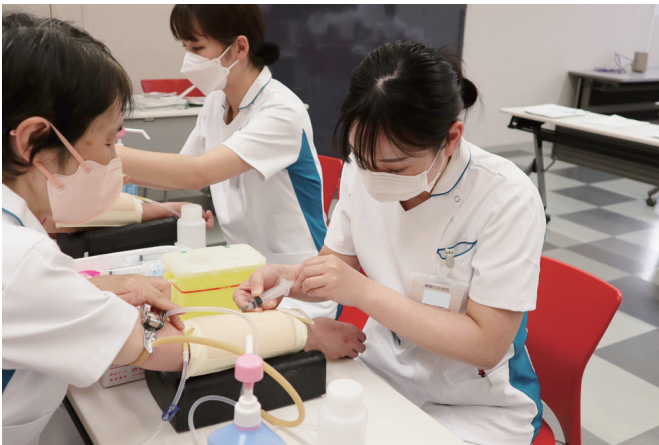
看護師ケーススタディ発表会、課題解決発表会



(写真左) 2023年3月9・10日に卒後2年目の看護師6名によるケーススタディ発表会が行われました。どの発表者も先輩の指導のもと優れたプレゼンを行い、実りある発表会となりました。

(写真右) 2023年3月22日に3階西病棟、リハビリ課、事務部による課題解決発表会が行われました。どの部門も意義のある取り組みを行ったうえでの興味深い発表でした。審査員5名による採点が行われ、事務部が最優秀賞を受賞しました。

新入職員オリエンテーション



2023年4月3・4・5日に新入職員オリエンテーションが行われました。今年もやる気に満ちあふれた方がたくさん入職しました。注射・採血の研修では緊張した面持ちでしたが、うまくできると表情も柔らかくなり、全体を通して充実した研修となりました。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➔ 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

➔ 079-225-1231（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30～19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

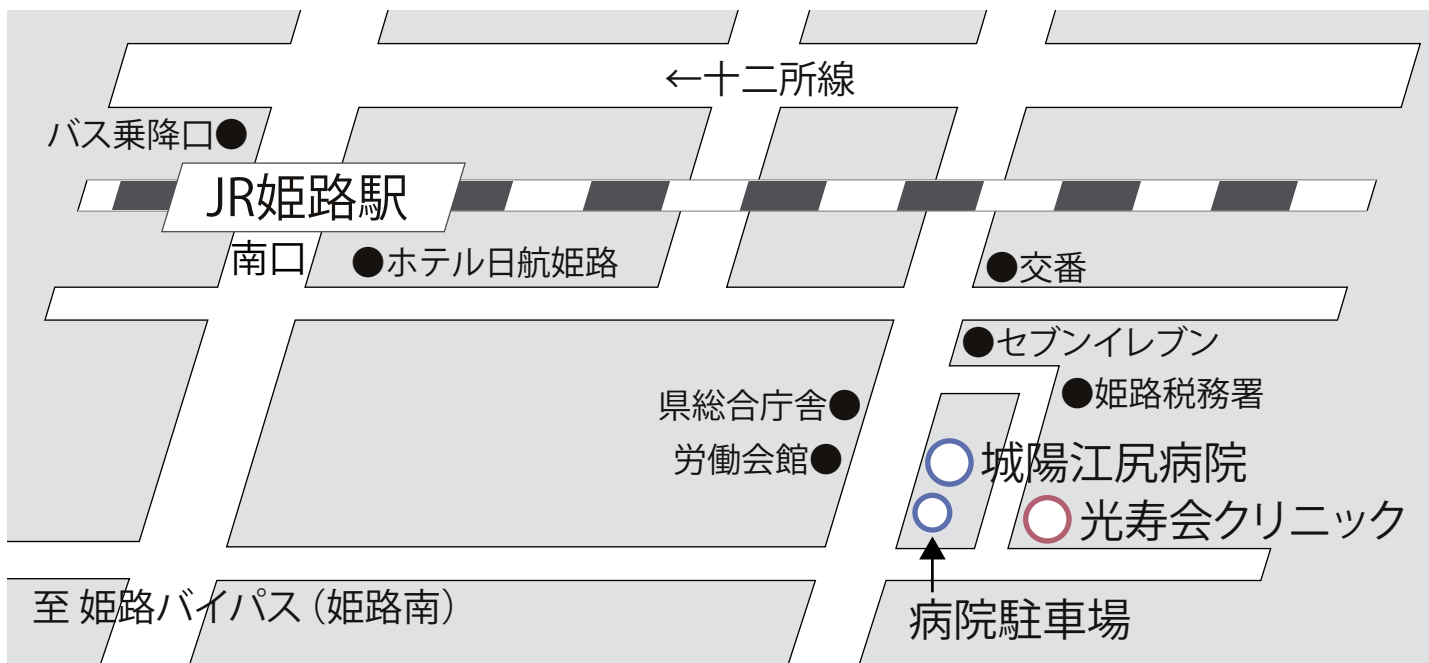
※ そのほかのお問い合わせは 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
代表 Tel：079-225-1231
Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
城陽江尻病院